佐世保市地域福祉計画推進委員会委員からのご意見・ご提案

（平成 27 年 7 月 13 日　第 3 回佐世保市地域福祉計画推進委員会）

≪委員提案事項≫

〇薬局・薬剤師の地域包括ケアにおける役割は次の 2 点である。

（1）相談窓口（かかりつけ薬局）としての機能を提供すること

（2）チーム医療・介護の中で最適な薬物療法を提供すること

このようなことについて、地域福祉計画の中で整理してはどうか。

≪その他、実施事業に対するご意見≫

■話し相手ボランティア事業

〇地域包括支援センターにて、話し相手ボランティアを案内することがあるが、「話し相手ボランティアを利用しませんか」というと抵抗感を示される場合がある。受け入れられやすい愛称を考えてみては。

■佐世保市福祉資金貸付事業

■長崎県生活福祉資金貸付事業

〇不景気の時は公的な資金の投入があって当然である。どこまで投入するのが適切なのか、景気の変化（失業率など）と連動する指標・基準が必要ではないか。

〇民間の金融会社と違い、一定の範囲内の不良債権はあって当然である。どこまでが許容範囲とするか、景気の変化と連動する基準が必要ではないか。

■社会資源情報

〇紙ベースで市民の方に説明しにくいことがある。テキスト以外で、動画による情報提供などをしてみては。地域包括支援センターで案内する場合に説明がしやすい。

〇市役所の福祉関係の部分の書類の様式をダウンロードできるようにしてはどうか。